２．丸亀市福祉推進委員会委員名簿

（平成 27 年 6 月 30 日まで）

区分	氏名	団体名	役職
丸亀市議会委員	水本　徹雄	丸亀市議会	教育民生委員会 副委員長
学識経験者	◎宮下　一彦	香川短期大学	
	大岡　敬子	社会福祉法人　丸亀市社会福祉協議会	総務企画課長
	○喜多　壽子	丸亀市民生委員児童委員協議会連合会	副会長
関係行政機関	関　結花	香川県中讃保健福祉事務所	保健対策第二課長
公共的団体等	山下　哲司	丸亀地区労働組合協議会	退職者会　幹事
	奥村　素一	港、ふれあいのまち城乾 （城乾コミュニティ）	会長
	福岡　由紀子	丸亀市婦人団体連絡協議会	会長
	岩﨑　晶典	丸亀市身体障害者福祉連合協会	事務局長
	佐藤　隆繁	丸亀市老人クラブ連合会	会長
	大廣　洋子	財団法人　香川県母子寡婦福祉連合会丸亀支部	支部長
公募委員	西山　忠明		
	西川　啓子		

◎は委員長　○は副委員長

（平成 27 年 7 月 1 日以降）

区分	氏名	団体名	役職
学識経験者	◎和泉　とみ代	吉備国際大学 保健医療福祉学部看護学科	学科長
	大岡　敬子	社会福祉法人　丸亀市社会福祉協議会	総務企画課長
	○喜多　壽子	丸亀市民生委員児童委員協議会連合会	副会長
関係行政機関	関　結花	香川県中讃保健福祉事務所	保健対策第二課長
公共的団体等	香川　智子	丸亀市福祉ママ会議連合会	副会長
	山下　哲司	丸亀地区労働組合協議会	退職者会　幹事
	奥村　素一	丸亀市コミュニティ協議会連合会	理事
	福岡　由紀子	丸亀市婦人団体連絡協議会	会長
	岩﨑　晶典	丸亀市身体障害者福祉連合協会	事務局長
	佐藤　隆繁	丸亀市老人クラブ連合会	会長
	大廣　洋子	財団法人　香川県母子寡婦福祉連合会丸亀支部	支部長
公募委員	三村　芳輝		
	久米　正一		
特別委員	奥澤　日登美	丸亀市民生委員児童委員協議会連合会主任児童委員部会	部会長
	高田　裕子	医療法人　社団三愛会　障害者就業・生活支援センターくばら	センター長

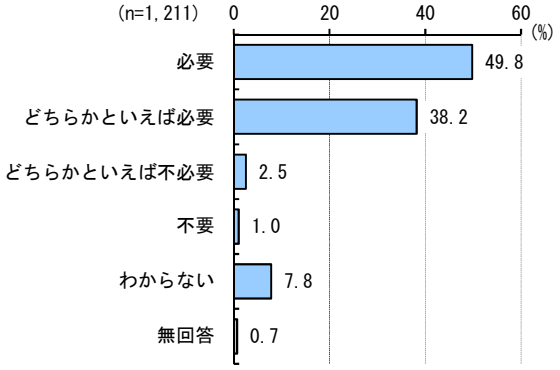
◎は委員長　○は副委員長

３．丸亀市の地域福祉に関するアンケート調査結果概要

ここでは、市民アンケート調査の主な項目を抜粋して、結果を掲載しています。

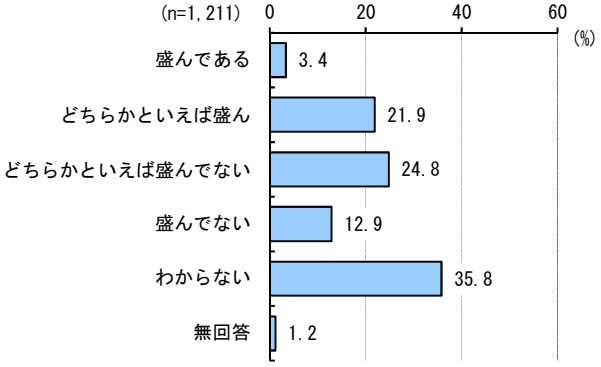
問７　あなたは、住み慣れた地域で誰もが安心して生活をおくるためには、住民相互の支え合い・助け合い活動（地域福祉活動）が必要だと思いますか。（○は１つ）

「必要」が49.8％で最も多く、次いで「どちらかといえば必要」が38.2％となっており、両者を合わせた約９割が、地域福祉活動が必要であると認識しています。



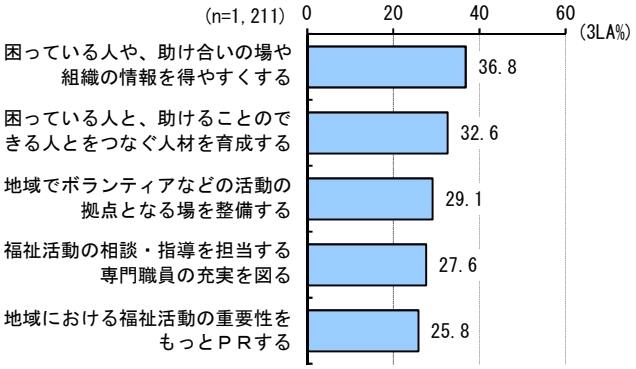
問８　あなたがお住まいの地域では、住民相互の支え合い・助け合い活動が盛んですか。（○は１つ）

「わからない」が35.8％で最も多くなっています。「盛んである」と「どちらかといえば盛ん」を合わせた割合は25.3％に対して、「盛んでない」と「どちらかといえば盛んでない」を合わせた割合は37.7％となっており、地域の福祉活動について『盛んでない』とみている人の方が多くなっています。



問９　住民相互の支え合い・助け合い活動を盛んにする、または参加しやすくするためには、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。（○は主なものを３つ以内）

「困っている人や、助け合いの場や組織の情報を得やすくする」が36.8％で最も多く、次いで「困っている人と、助けることのできる人とをつなぐ人材を育成する」32.6％、「地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する」29.1％となっています。

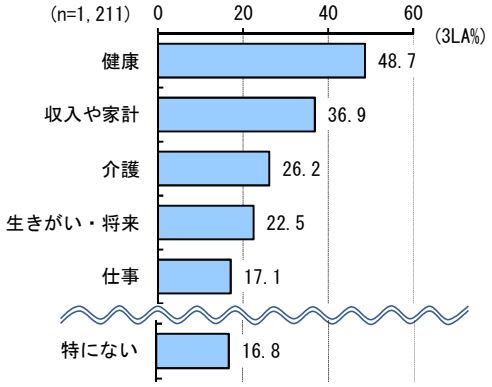


（グラフは上位５位を示す。）

問10　あなたは、毎日の暮らしの中で、今困っている事や将来心配なことがありますか。（○は主なもの３つ以内）

「健康」が48.7%で最も多く、次いで「収入や家計」36.9%、「介護」26.2%となっています。また、「特にない」は16.8%であり、８割以上の人が何らかの困りごとや将来の心配ごとを抱えています。

（右グラフは上位５位と「特にない」を示す。）



問11　あなたは、困ったとき誰かに相談したいと思いますか。（○は１つ）

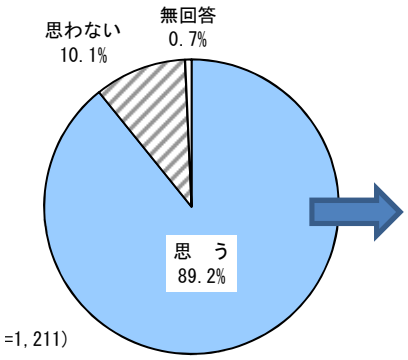
問11で「１．思う」を選んだ方におたずねします。

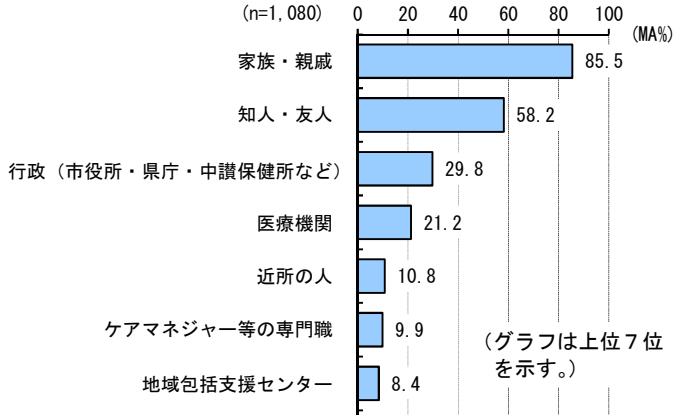
問11-1　主に、誰に相談したいですか。（○はあてはまるものすべて）

困った時に相談したいと「思う」は89.2%を占めています。

相談したい相手は「家族・親戚」が85.5%で最も多く、次いで「知人・友人」58.2%となっています。「民生委員・児童委員」「社会福祉協議会」「身体・知的障がい者相談員」「福祉協力員」「福祉ママ」などの地域の福祉関係機関や専門員をあげる人は少数です。

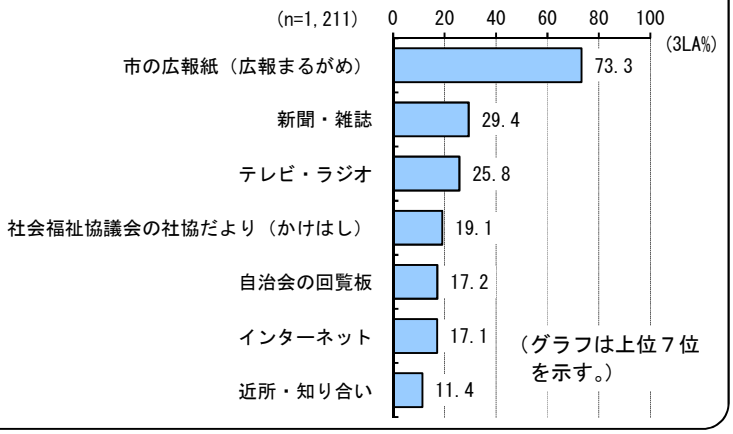
【困った時に相談したいと思うか】





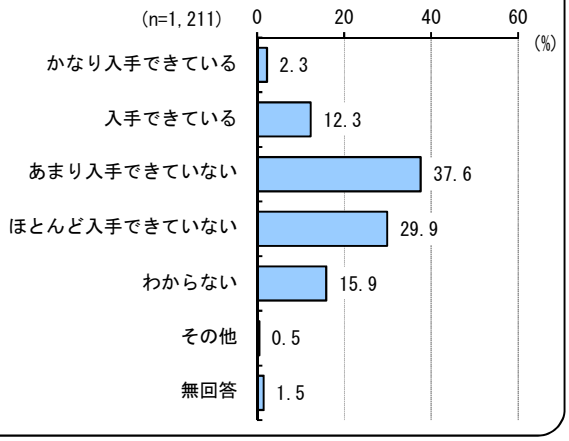
問12　あなたは、福祉に関する情報をどこから入手していますか。（○は主なものを３つ以内）

「市の広報紙（広報まるがめ）」が73.3%で圧倒的に多く、次いで「新聞・雑誌」29.4%、「テレビ・ラジオ」25.8%とマスメディアが続いています。また、「社会福祉協議会の社協だより（かけはし）」は19.1%、「自治会の回覧板」は17.2%となっています。



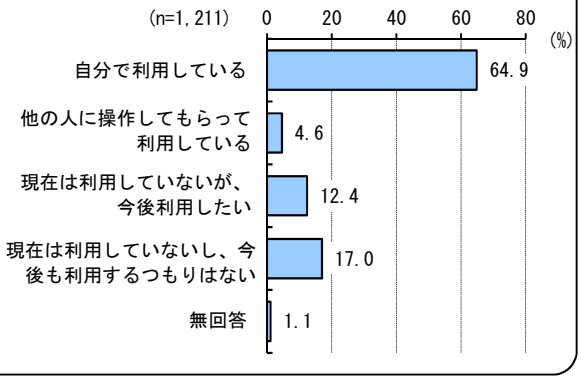
問13　あなたは、福祉に関する情報をどの程度入手できているとお考えですか。（○は１つ）

「あまり入手できていない」が37.6％で最も多く、次いで「ほとんど入手できていない」29.9％となっており、この両者を合わせると７割弱が『情報が入手できていない』と考えています。一方、「かなり入手できている」と「入手できている」を合わせた『情報が入手できている』と考えている人は14.6％と少数となっています。



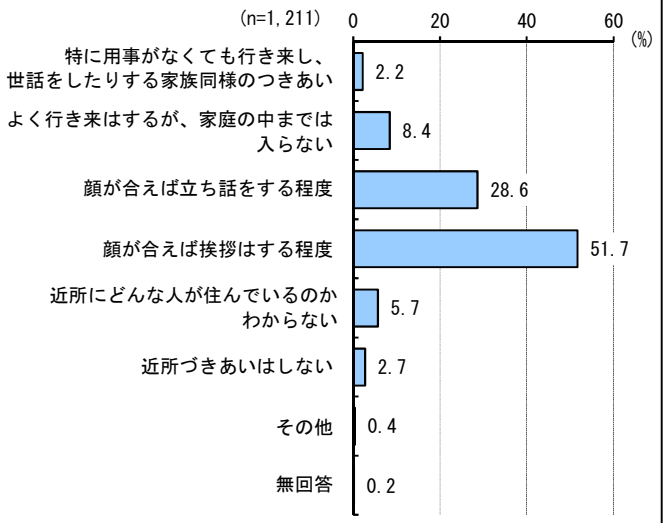
問14　パソコン、携帯電話などによるインターネットの利用状況はどうですか。（○は１つ）

「自分で利用している」が64.9％と多数を占め、「他の人に操作してもらって利用している」を合わせると、約７割がインターネットを利用しています。



問15　近所の人とは、どの程度のつきあいをしていますか。（○は１つ）

「顔が合えば挨拶はする程度」が51.7％で最も多く、次いで「顔が合えば立ち話をする程度」28.6％となっており、この両者を合わせると８割を占めています。「特に用事がなくても行き来し、世話をしたりする家族同様のつきあい」や「よく行き来はするが、家庭の中までは入らない」という深いつきあいをする人は少なく、逆に、「近所にどんな人が住んでいるのかわからない」「近所づきあいはしない」といった近所とのつきあいがない人も少ない状況です。



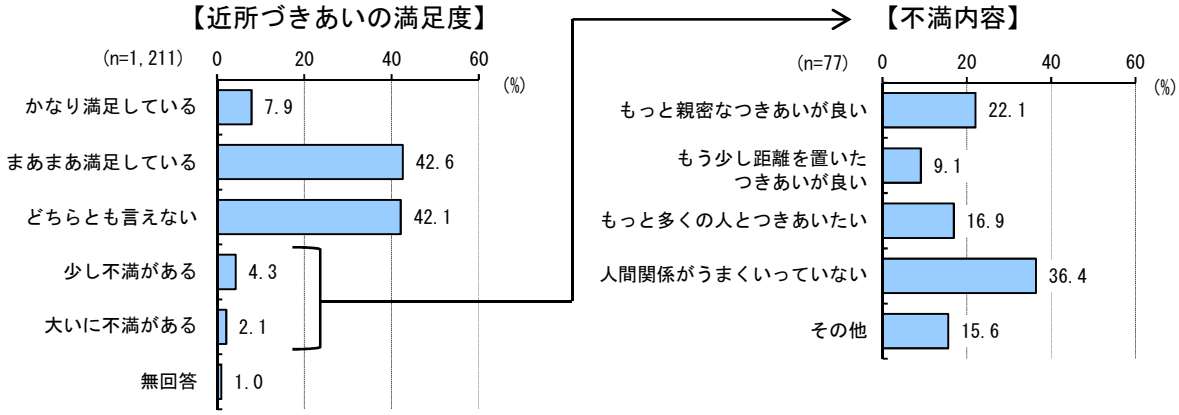
問16　今の近所づきあいに満足していますか。（○は１つ）

問16で「４．少し不満がある」「５．大いに不満がある」を選んだ方におたずねします。

問16-1　何が不満ですか。（○は１つ）

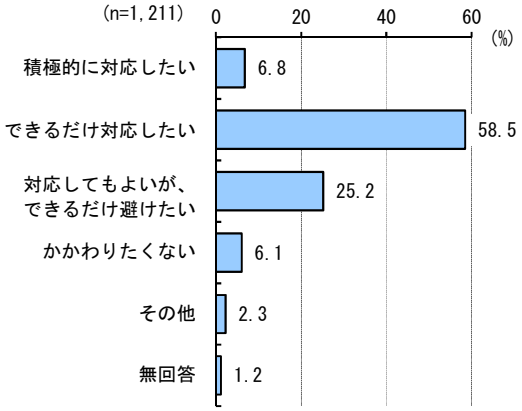
近所づきあいについて、「かなり満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた『満足』は 50.5%と半数を超えています。一方、「大いに不満がある」と「少し不満がある」を合わせた『不満』は 6.4%であり、前問で近隣関係が浅くなってきている傾向がうかがえるものの、概ね満足している人が多いという状況となっています。

不満内容については、「人間関係がうまくいっていない」が 36.4%で最も多く、次いで「もっと親密なつきあいが良い」22.1%となっています。



問17　暮らしの中で困りごとを抱える人たちから助けの求めがあった場合に、あなたはどう対応したいと思いますか。（○は１つ）

助けの求めがあった場合には、「できるだけ対応したい」が58.5%で最も多く、「積極的に対応したい」と合わせると、３人中２人は『対応したい』と考えています。一方、「対応してもよいが、できるだけ避けたい」と「かかわりたくない」を合わせると３割強となっています。



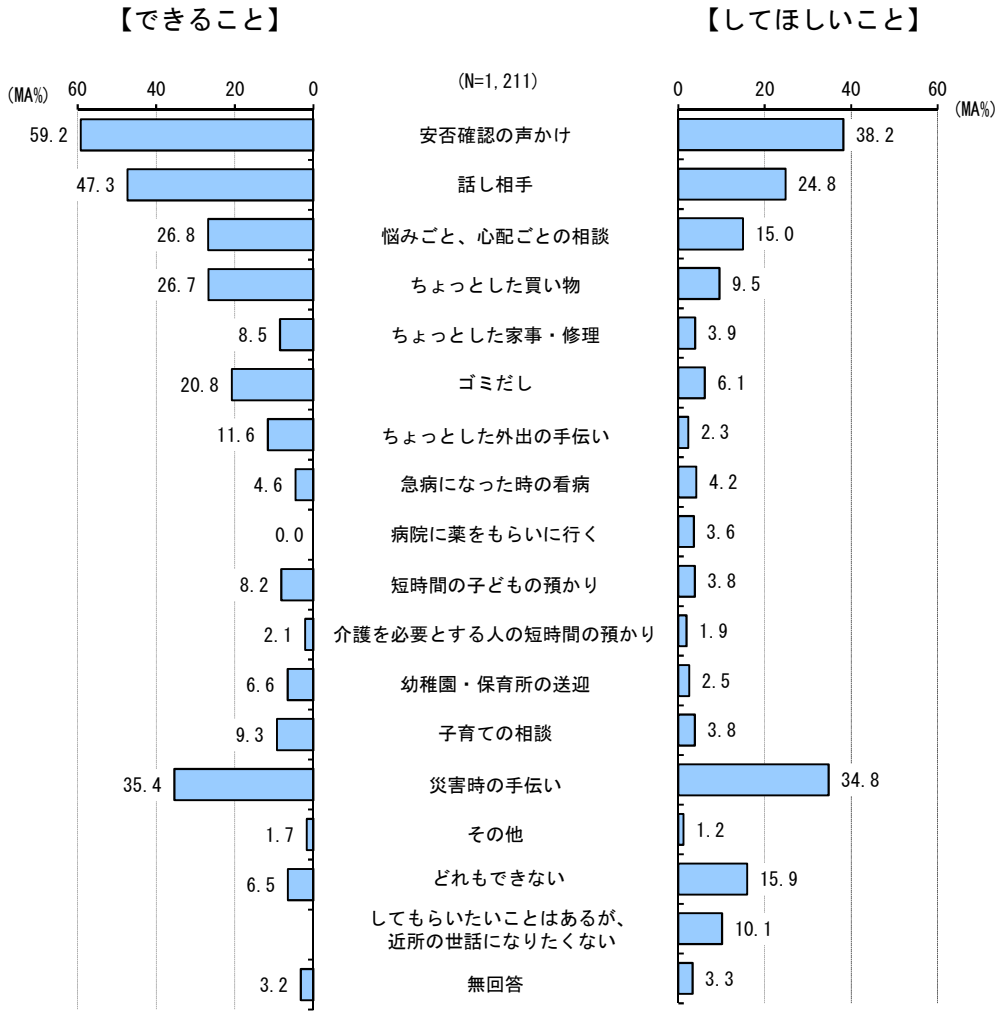
問18　近所で困っている方がいた時、あなたができることは何ですか。（○はあてはまるものすべて）

問19　近所の人に手助けをしてもらうとしたら、あなたはどんなことをしてほしいと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

近所の人が困っていた時にできることは、「安否確認の声かけ」が59.2%で最も多く、次いで、「話し相手」47.3%、「災害時の手伝い」35.4%となっており、できることは多岐にわたっています。

一方、近所の人に手助けしてほしいと思うことは、「安否確認の声かけ」が38.2%で最も多く、次いで「災害時の手伝い」34.8%、「話し相手」24.8%となっています。

『問18　できること』『問19　手助けしてほしいこと』を比べると、若干順位は変わるものの上位５項目は共通しており、ニーズが高いことには対応できる人も多いということになります。また、いずれの項目も、『できること』の割合が、『手助けしてほしいこと』の割合を上回っており、ニーズを上回る供給量が確保できるということになります。



問20　あなたのお宅は、自治会に加入していますか。（○は１つ）

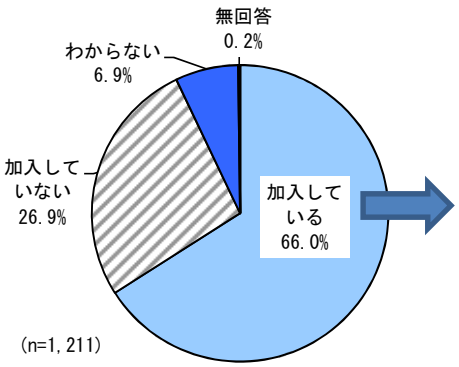
問20で「1. 加入している」を選んだ方におたずねします。

問20-1　自治会に加入してよかったことは何ですか。（○はあてはまるものすべて）

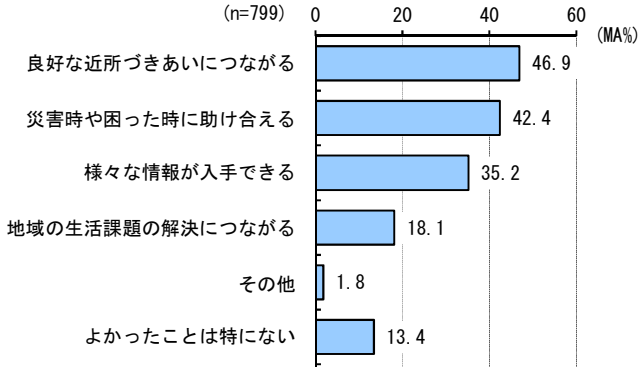
自治会に「加入している」のは66.0％と、３分の２程度となっています。

自治会に加入してよかったことについては、「良好な近所づきあいにつながる」が46.9％で最も多く、次いで「災害時や困った時に助け合える」42.4％、「様々な情報が入手できる」35.2％となっています。また、「よかったことは特にない」は13.4％と１割を超えています。

【自治会への加入有無】



【加入してよかったこと】



（グラフは上位５位と「よかったことは特にない」を示す。）

問21　あなたは現在、自治会や子ども会、老人クラブ、ＰＴＡ活動などの地域活動をしていますか。（○は１つ）

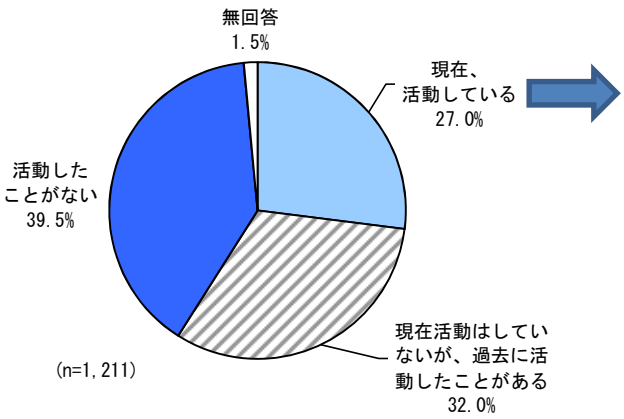
問21で「１．現在、活動している」を選んだ方におたずねします。

問21-2　どんな活動をしていますか。（○はあてはまるものすべて）

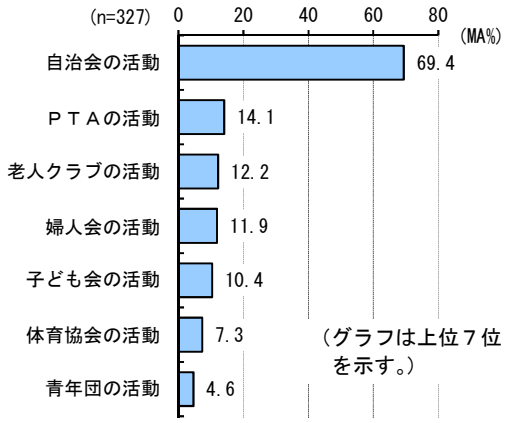
地域活動の有無については、「活動したことがない」が39.5％で最も多く、次いで「現在活動はしていないが、過去に活動したことがある」32.0％となっており、「現在、活動している」は27.0％となっています。

現在、地域活動をしていると回答した人の活動内容は、「自治会の活動」が 69.4％で最も多く、他の活動は 10％台以下となっています。

【地域活動の有無】



【現在の活動内容】

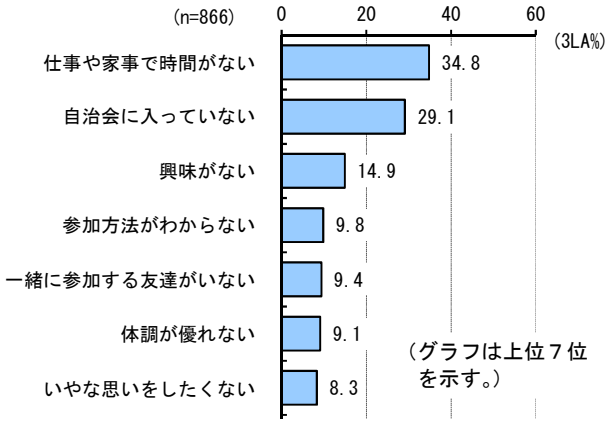


（グラフは上位７位を示す。）

問21で「２．現在活動はしていないが、過去に活動したことがある」「３．活動したことがない」を選んだ方におたずねします。

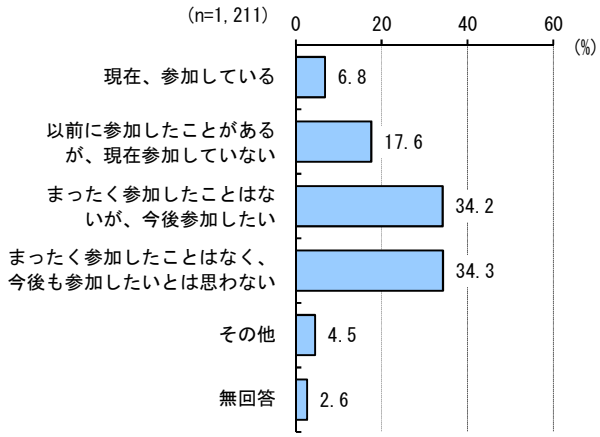
問21-4　現在活動していない理由は何ですか。（○は主なものを３つ以内）

「仕事や家事で時間がない」が34.8%で最も多く、次いで「自治会に入っていない」29.1%、「興味がない」14.9%となっています。



問22　あなたは、問21のような地域での活動以外に、個人的にボランティア活動に参加したことがありますか。（○は１つ）

個人的なボランティア活動に「現在、参加している」は6.8%にとどまり、これに「以前に参加したことがあるが、現在参加していない」を合わせると、『ボランティア活動の経験がある人』は４人に１人程度となっています。

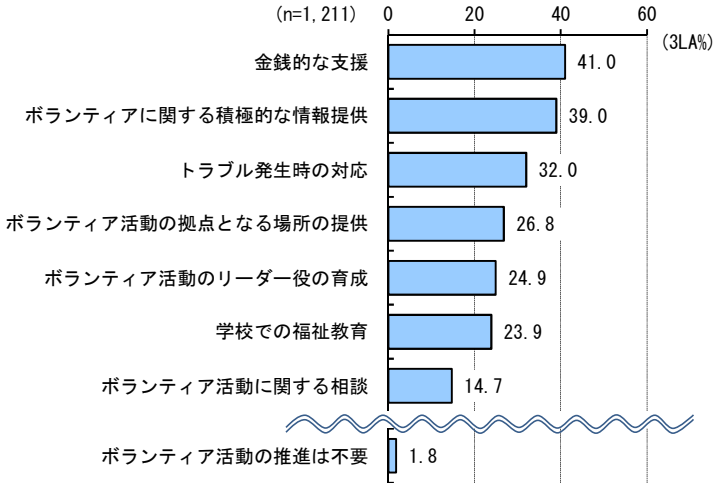


問23　地域のボランティア活動を進めていく上で、市はどのようなことに取り組む必要があると思いますか。（○は主なものを３つ以内）

「金銭的な支援」が41.0%で最も多く、次いで「ボランティアに関する積極的な情報提供」39.0%、「トラブル発生時の対応」32.0%となっています。

また、「ボランティア活動の推進は不要」は1.8%と極めて少なく、大多数の人はボランティア活動の必要性を認識しているといえます。

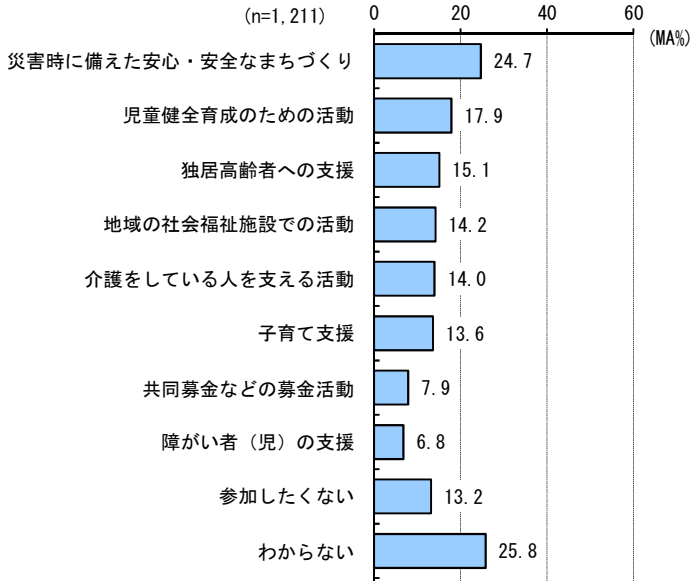
（グラフは上位７位と「ボランティア活動の推進は不要」を示す。）



問24　あなたは、今後、次のような福祉に関わる地域活動やボランティア活動などに参加したいと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

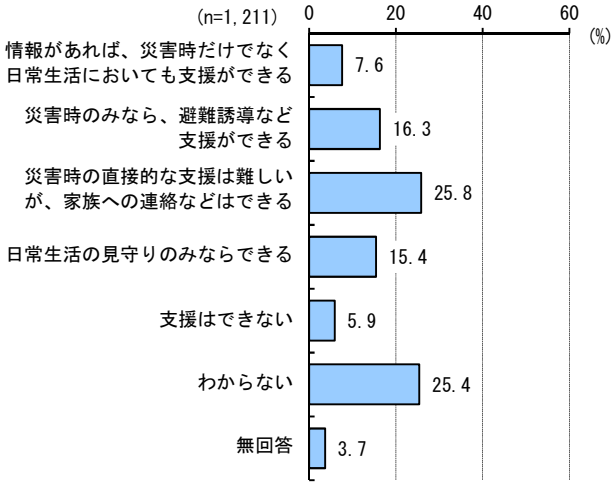
「参加したくない」は13.2%であり、大多数が何らかの福祉活動に参加したいと回答しています。

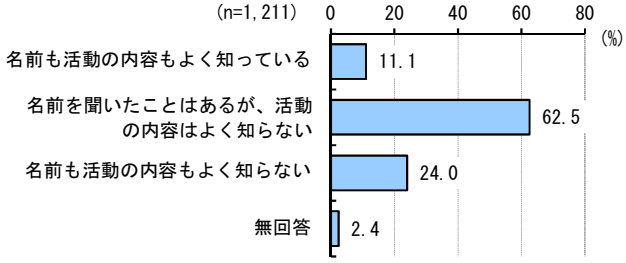
福祉活動の内容では「わからない」が25.8%で最も多く、次いで「災害時に備えた安心・安全なまちづくり」24.7%、「児童健全育成のための活動」17.9%、「独居高齢者への支援」15.1%となっています。



問25　丸亀市は、現在、避難行動要支援者名簿の作成準備を進めています。本人が同意すれば、その情報を市や社会福祉協議会、コミュニティ等が共有し災害時の安否確認や避難誘導に役立てていきます。あなたは災害時に備え要支援者に対して、どのような援助ができますか。（○は１つ）

「災害時の直接的な支援は難しいが､家族への連絡などはできる」(25.8%)と「わからない」(25.4%)が多くなっています。また､「情報があれば、災害時だけでなく日常生活においても支援ができる」と「災害時のみなら、避難誘導など支援ができる」を合わせた『支援ができる人』は23.9%と４人に１人程度となっています。



問26　あなたは丸亀市社会福祉協議会をご存じですか。（○は１つ）

「名前を聞いたことはあるが、活動の内容はよく知らない」が62.5%と多数を占め、次いで「名前も活動の内容もよく知らない」24.0%となっています｡「名前も活動の内容もよく知っている」は11.1%と少数です。